

第10回 フレンドシップコンサート

～市川交響楽団室内楽演奏会～
間近で感じるアンサンブル

2023年3月25日(土)

開演 14:00 (開場 13:30)

山崎製パン総合クリエイションセンター内
飯島藤十郎社主記念LLCホール

指揮&Solo: 三原 明人

演奏: 市川交響楽団

主催: 市川交響楽団協会

協賛: 山崎製パン総合クリエイションセンター

協力: 山崎製パン株式会社

◆ご挨拶◆

本日は第10回フレンドシップコンサートにご来場いただきありがとうございます。

ここヤマザキ製パン総合クリエイションセンターにて、2017年9月23日、第1回が開催された「フレンドシップコンサート」は本日無事に第10回開催の運びとなりました。あらためて、これまでご協賛いただいた山崎製パン株式会社様、総合クリエイションセンター様の多大なるご協力に深く感謝申し上げます。演奏会場のLLCホールは本年2023年1月より大型パイプオルガン設置工事のための改修工事中でしたが、本日は工事を中断してまでLLCホールを使用させていただく事が可能となりました。重ねて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回はこの空間を利用した市川交響楽団有志による少人数編成の作品として、バッハ、ハイドンからブラームス、ワーグナーに続く室内楽作品を演奏致します。最後までごゆっくりご鑑賞下さいますようお願い申し上げます。

市川交響楽団協会
理事長 時田 雄

◆ 本日のプログラム ◆

◇ フランツ・ヨーゼフ・ハイドン / 弦楽四重奏曲第78番変ロ長調 作品76-4 「日の出」

第1楽章 Allegro con spirito

第3楽章 Menuet: Allegro

第4楽章 Finale: Allegro ma non troppo

◇ フランソワ・ドヴィエヌ / フルート、ヴィオラとチェロのための三重奏曲第2番 八長調

第1楽章 Allegro assai

第2楽章 Presto

◇ フランソワ・ドヴィエヌ / フルート、ヴィオラとチェロのための三重奏曲第3番 二短調

第1楽章 Siciliano

第2楽章 Allegro

◇ ヨハネス・ブラームス / 弦楽四重奏曲第2番イ短調 作品51-2

第1楽章 Allegro non troppo

第2楽章 Andante moderato

・・・・・・・・・・ 休憩 ・・・・・・・・・・

◇ ヨハン・クリスティアン・バッハ（アンリ・カサドシュ） / ヴィオラ協奏曲 八短調

第1楽章 Allegro maestoso

第2楽章 Adagio espressivo

第3楽章 Allegro molto

◇ リヒャルト・ワーグナー / ジークフリート牧歌 作品103

◆お願い◆

皆様に最後まで演奏会を楽しんで頂くために次の点にご協力くださるようお願いいたします。

- ♪ 新型コロナウイルス感染対策のため、必ずマスクの着用をお願いします。
- ♪ 会場内では極力会話をお控えいただきますようお願いいたします。
- ♪ 37.2℃以上の発熱のある方、体調の優れない方はご遠慮頂きますようお願いいたします。
- ♪ 携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定してください。
- ♪ 演奏中にお子様ที่落ち着きがなくなった場合は一度ロビーに出られて様子を見て再入場お願い致します。
- ♪ 客席、ロビー以外は立ち入りが出来ません。ホール後方のバリケードには近づかない様をお願いします。
- ♪ ロビー以外でのご飲食はお控えください。

◆出演者のご紹介◆

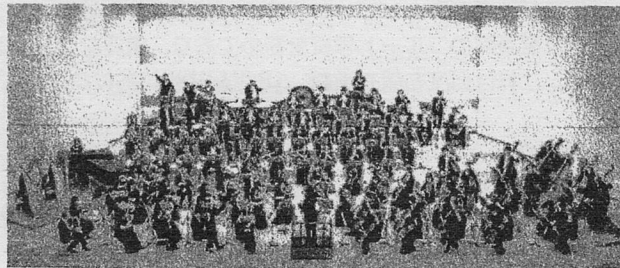
三原明人（みはら あきひと）



東京生まれ。幼少よりヴァイオリン、ピアノ、作曲を始め、東京芸術大学音楽学部器楽科でヴィオラを、桐朋学園大学及びウィーン国立音楽大学で指揮法を学ぶ。芸大在学中に作曲された「ヴィオラとオーケストラのためのプレリュード」（1983）は作曲者の独奏により初演され、同年のN響機関紙「フィルハーモニー」誌上にて紹介された。ヴィオラの室内楽奏者としてピアニストのピーター・ゼルキンやチェリストのフレッド・シェリーと共演、ニューヨーク・カーネギーホール主催の現代日本作品演奏会に出演。サイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ・ツアーにも参加した。1989年オランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールで第2位入賞し、オランダ放送フィルを指揮してアムステルダムにてデビュー。1996年ポルトガルで行われたリスボン国際指揮者コンクールで第3位入賞（1位なし）。ウィーンフィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタント、ベルリンフィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務めるなど研鑽を積みながらヨーロッパと日本を中心に各地で活躍、数多くのオーケ

ストラを指揮している。現在は東京音楽大学にて後進の育成にも努めており、またアマチュア音楽家との交流も数多い。自ら室内アンサンブルを主催するなど大変ユニークな活動を展開している。東京音楽大学指揮科及び同大学院講師。市響ジュニアオーケストラ初代コンサートマスター、学生時代は市響でもヴァイオリン&ヴィオラ奏者として活躍。

市川交響楽団（いちかわこうきょうがくだん）



市川交響楽団（市響）は市川市を活動拠点とするアマチュアオーケストラで、「クラシック音楽の演奏による地域文化振興活動」を実践している文化団体です。

市響の主催演奏会はそのほとんどを入場無料でいき、多くの入場者、支援者を得て年2回の定期演奏会を行っております。そのほかの演奏会につきましても市川市文化振興財団主催公演、

市川市芸術文化団体協議会舞台公演等に積極的に参加協力するほか、近年では団員有志による企画・運営を行う「フレンドシップコンサート」や小、中学生にオーケストラ合奏の体験をしてもらう「オーケストラ体験会」への応援参加などで市川市内の音楽文化振興に貢献しています。これらの活動実績を評価され令和4年度「千葉県教育功労賞（文化芸術部門）」を千葉県教育委員会から表彰されております。

◆曲目のご紹介◆

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン /
弦楽四重奏曲第78番変ロ長調 作品76-4「日の出」 第1, 3, 4楽章

ペルレルカルテット

Vn1: 早川 貴子 Vn2: 溝田 範子 Va: 本郷 尚子 Vc: 倉澤 倫子

私たちのカルテットは第1回目のフレンドシップコンサートより参加しており結成7年目となりました。ハイドンの曲は初めての取り組みで、本日は下記の楽章を演奏致します。

第1楽章 持続される和音の上に、穏やかに上昇するメロディを第1ヴァイオリンが演奏します。

その部分からの連想により、この曲は「日の出」の愛称がついています。

ロマンティックで幻想的な部分から軽快なリズムミッド部分へダイナミックに進行していきます。

第3楽章 優雅で明るいメヌエットです。

第4楽章 装飾音を含む軽快な主題が続きます。中間部分は短調で荒々しい雰囲気急転します。

最後に速度を増したコーダに入り高揚した気分を盛り上げます。

(本郷 尚子)



Franz Joseph Haydn 1732.3.31. – 1809.5.31

String Quartet in B-flat major, Hob.III:78 1796-97

I Allegro con spirito

III Menuet: Allegro

IV Finale: Allegro ma non troppo

フランソワ・ドヴィエンヌ /
フルート、ヴィオラとチェロのための三重奏曲第2番 八長調 & 第3番 二短調

アンサンブル・コンフォルタ

Fl: 二木 陽子 Va: 園田 陽子 Vc: 倉澤 倫子

フランソワ・ドヴィエンヌは1759年生まれ、モーツァルトより3歳年下で19世紀初頭に亡くなった作曲家です。生前は革命政府のもと、オペラ座や音楽院を拠点として、フルートとバスン（フランス式ファゴット）ですぐれた演奏を聴かせる達人としても知られ、それらが独奏楽器としていかにもすぐれているかを端的に示す名品を、短い生涯のうちに続々と世に出しました。パリ音楽院のフルート教授を務めており、重要なフルート教則本『フルート演奏の理論と実践』を出版しました。これは何度も版を重ね、18世紀後半におけるフランス吹奏楽の向上に大きく貢献しました。

約300曲に上る器楽曲は、ほとんどが管楽器のために作曲されています。オペラも12曲あります。優雅な旋律様式から「フランスのモーツァルト」と呼ぶ向きもあります。

フルートとヴィオラとチェロのトリオは全6曲あり、短い楽曲で全て2楽章で構成されています。今回はその中から2番と3番を演奏いたします。

(園田 陽子)



François Devienne 1759.1.31 – 1803.9.5

Trios for Flute, Viola and Cello No.2 in C Major 1784

I Allegro assai II Presto

Trios for Flute, Viola and Cello No.3 in D Minor

I Siciliano II Allegro

ヨハネス・ブラームス /
弦楽四重奏曲第2番イ短調 作品51-2 第1, 2楽章

ブラーベンカルテット

Vn1: 大橋 一郎 Vn2: 渡辺 みどり Va: 大橋 かおる Vc: 福原 耕二

この曲は冒頭のメロディーが柔和でものやさしく、私たちがいつかはやってみたいと思っていた曲です。

ブラームスは3曲の弦楽四重奏曲を残しました。その前には20曲を超える習作を書いては破り捨てたそうですが、偉大なベートーヴェンの四重奏曲に対する畏敬の念があったとされています。今回演奏する第2番はバッハ的な精神を受け継いでおり、ベートーヴェンの影響を強く受けた第1番とは異なる性格をもっています。

第1楽章はA F A E (ラファラミ)の音列から始まっており、ヨアヒムのモットー Frei Aber Einsam (自由だが孤独に)にちなんでいると言われ、何回か繰り返されます。第2楽章は穏やかな雰囲気が始まりますが、途中でトレモロを伴う熱情的なものに一変する部分が特徴的です。

(大橋 一郎)



Johannes Brahms 1833.5.7 - 1897.4.3

String Quartet No.2 in A Minor, Op.51 No.2 1873

I Allegro non troppo

II Andante moderato

◆フレンドシップコンサートへの三原先生からのメッセージ◆

フレンドシップ・コンサートは、その前身となる“弦楽クリニック”を2016年に始めた時から毎年、市響メンバーの個々人のレベルアップを目的として継続しております。特に弦楽器は、オーケストラでは大勢の人たちで一緒に音を演奏するのに対して、室内楽では一人一人がソロのパートを受け持つので自らの音を磨かなければならず、大変効果的な良い機会です。

元々室内楽が発展拡大してオーケストラになったので、実はオーケストラも巨大な室内楽なのです。

参加されているメンバーは年々その腕前を上げ、クリニック開始当初を思えば見違えるくらい素晴らしい演奏が出来るようになりました。その成果がオーケストラでの演奏にも反映されていると思います。

本日はそうした室内楽の成果をどうぞお楽しみください！

(三原 明人)

ヨハン・クリスティアン・バッハ (アンリ・カサドシュ) /
 ヴィオラ協奏曲 八短調

私は、音源を聞いてこの曲が一回で好きになりました。ヴィオラは仮に同じ音域を奏でてもヴァイオリンとは異なる深い音色が出るのが特徴。この曲はそうしたヴィオラの特徴をよく引き出してくれるように思います。

作曲者は、実はJ.C.バッハではなく、アンリ-ギュスターヴ・カサドシュ(1879-1947)というフランスの作曲家。なので「J. C. バッハのヴィオラ協奏曲」と題名にカッコがつきます。別名「J. C. バッハ風ヴィオラ協奏曲」というところでしょうか？第1楽章はいかにバロックらしい主題で始まりますが、曲はロマンチックに展開していきます。第2楽章は哀愁を誘い、そして、重音で始まる第3楽章は情熱的。最後に第1楽章の主題が回帰するところもクールです。三原先生の美しいSoloによるこの名曲をお楽しみください！(三野 彰久)



Johann Christian Bach
 1735.9.5 – 1782.1.1



Henri-Gustave Casadesus 1879.9.30 – 1947.5.31

Viola concerto in C minor in the Style of J.C. Bach

1947

- I Allegro maestoso
- II Adagio espressivo
- III Allegro molto

Vla Solo & Conductor : 三原 明人

Concert mistress : 武藤 敦子

V n 1 :	石本 恵理 早川 貴子	大橋 一郎 山本 芳功	桑原 啓輔 渡辺 みどり	立田 祥子 渡辺 惟	秦 一宜
V n 2 :	岩田 徳子 羽深 理絵	大橋 かおる 牧田 太郎	滝澤 葉子 溝田 範子	富田 八江子 三野 彰久	服部 恵子
V a :	内田 綾美	園田 陽子	谷口 善樹	星 乗昭	本郷 尚子
V c :	泉谷 良枝	倉澤 由和	中村 公一	八重樫 妙子	
C b :	池田 和正	小林 真弓			

リヒャルト・ワーグナー /
ジークフリート牧歌 作品 103

この曲は、ワーグナー 56 歳の時に長男ジークフリートを出産してくれた妻コジマへの誕生日プレゼントとして作曲されました。ひそかに練習していた楽団をコジマの寝室に通じる階段に配置し、朝日の昇る中で演奏されました。美しい音楽の調べに驚いて目を覚ました彼女は、思いがけない贈り物に涙を流して喜んだという事です。曲は、長男を得た喜びとコジマへの感謝の気持ちが痛いほど伝わってきます。この小さな赤ちゃんが少しずつ成長し、歩き始め、時には嵐に見舞われても立派な青年になっていく姿を思い浮かべていたら・・・突然現実に戻され、安心して眠るジークフリートの姿にほっこりして曲は終わります。

この作品は、木長調により幻想的で自由な 3 部形式で構成されています。楽劇「ジークフリート」と同じモチーフが多数あらわれます。管楽器は 8 パートで小編成、さらに弦楽器は各パート 1 人ずつでも演奏できるなど十三重奏の室内楽として演奏可能なほどにコンパクトに作曲されていますが、今回は弦楽器が多めの編成でおおくりします。「愛」「喜び」「感謝」の気持ちが少しでも伝わるように心を込めて演奏させていただきます。(山本 芳功)



Wilhelm Richard Wagner

1813.5.22 - 1883.2.13

Siegfried-Idyll, WWV 103

1870

Conductor : 三原 明人

Concert mistress : 武藤 敦子

V n 1 :	石本 恵理 早川 貴子	岩田 徳子 山本 芳功	大橋 一郎 渡辺 みどり	立田 祥子 渡辺 惟	秦 一宜
V n 2 :	大橋 かおる 羽深 理絵	桑原 啓輔 牧田 太郎	滝澤 葉子 溝田 範子	富田 八江子 三野 彰久	服部 恵子
V a :	内田 綾美	園田 陽子	谷口 善樹	星 乗昭	本郷 尚子
V c :	泉谷 良枝	倉澤 由和	中村 公一	八重樫 妙子	
C b :	池田 和正	上村 啓介	小林 真弓		
F l :	秋山 愛美				
O b :	二村 直子				
C l :	秋永 直美	半藤 嗣人			
F g :	金坂 哲				
H r :	嶋村 恒夫	林田 朋子			
T p :	八木 巧次				

今後の演奏会のご案内

♪ 第427回「第46回市響ジュニアオーケストラ定期演奏会」

2023年5月5日（金・祝）14:00 開演

曲目：チャイコフスキー/「眠れる森の美女」よりワルツ

チャイコフスキー/ロメオとジュリエット

ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」

指揮：直井 大輔

市川市文化会館大ホール

♪ 第428回 市響「交響楽の午後」

2023年7月16日（日）14:00 開演

曲目：ムソルグスキー/ラベル 「展覧会の絵」 他

指揮：堺 武弥

出演：エリック・ミヤシロと市響

市川市文化会館大ホール

♪ 「第11回フレンドシップコンサート」

2023年9月16日（土）昼公演

※当ヤマザキクリエイションセンター LLC ホール改修のため

「行徳文化ホールI&I」での引越し公演となります。

公演内容、入場希望申し込みにつきましては市響ホームページをご確認ください。

市響ホームページ <http://ichikyo.org/>

お問合せメールアドレス main@ichikyo.org

* すべて入場無料で開催いたします。

第10回フレンドシップコンサート実行委員

内田 綾美(委員長) 谷口 善樹(事務局) 倉澤 倫子(会計)

上村 啓介(プログラム) 二村 直子(ステマネ)